

1 年 の あ ゆ み

(2 0 1 5 年 度 事 業 報 告)

2015 年 4 月 1 日 から 2016 年 3 月 31 日



目 次

1. みのお市民活動センター指定管理にかかわる事業 …	3
2. 自主事業	19
3. その他	35

特定非営利活動法人 市民活動フォーラムみのお

市民活動フォーラムみのお 2015 年度 1年のあゆみ(成果概要)

《2015 年度事業計画・基本方針より》

- ☆ NPOの自立性を高めます
- ☆ セクター間の連携を推進します
- ☆ NPOの担い手を増やします

☆おことわり☆

本冊子での実施日 4 月～12 月は
2015 年の、1 月～3 月は 2016 年
の日付をさします。

2015 年度基本方針として掲げたものについて、以下のような成果があった。

[NPOの自立性を高める仕掛け]

☆支援金制度による市民活動団体の支援

2015 年度は、制度改正を行い、前期と後期の募集を 5 月募集の年 1 回とし、支援金対象経費の 75%の交付に改編し、より自立を促す制度改正となった。また、新たな支援としてコンサルティングオプションを付け、外部専門家による交付事業のブラッシュアップやその基盤となる組織運営の助言等も、希望する交付事業に対して行った。

☆ファンドレイジングの提案・啓発

2015 年度の「チャリティタウンプロジェクト」では、エントリー団体の募集条件に目標寄附金額(最低 2 万円以上)を設定し、街頭募金や SNS 上での呼び掛け等を通じて寄附集めを行うことを掲げた。今回は期間を 12 月から 2 月の 3 カ月とし、運転資金調達を目的とした餅つき大会を 12 月に開催してアピールした。

【成 果】

- コンサルタントを希望した 5 団体に対し、専門家と共に申請時の相談に乗ったスタッフも入って、より詳細で具体的なサポートを実施することができた。団体側からも 2 回以降の希望の声も上がり、コンサルタントの必要性を感じた。
- チャリティタウンプロジェクトも 6 年目に入り、今年度は、エントリー団体のクラウドファンディング挑戦のハードルを上げた。寄附啓発の意義や資金調達の大切さを体感する機会を提供できた。

[セクター間の連携]

☆自治会やこども会、大学連携の事業者、行政とNPOのネットワーク構築

2015 年度支援金申請の船場西地区連合自治会と行政、市民活動センターが協働し、[vvv]ヴィークラフトの支援金事業を通して、萱野小地区のこども会やコミセン運営委員会、阪大サークル GECS、きずきデザインラボ等の企業が一体となってこどもワークショップを開催した。

【成 果】

- 地域の資源を活かした交流の場づくりという点では、多様な団体が環境の啓発を通して繋がったことは大変意義深い。イベントの企画や実施に向けて箕面市国際交流協会の協力もあり、3 月の学生デザインコンペに協力するネットワークが広がった。

- 市民活動センターのある萱野小地区が、さまざまな団体の連携を生む将来のまちづくりのモデルケースになる可能性を感じた。

☆広域的中間支援組織との連携

関西NPO支援スタッフネットワーク(KNN)の団体と協働で、NPO法人SEINと「NPO法人事務力アップセミナー & 検定」を昨年度に引き続き共催した。来年度を見込んでNPO法人市民活動ネットすいたからも講師協力してもらい、2か所に登壇。来年度につなげる開催内容になった。

【成 果】

- 内部講師として登壇することでスタッフのスキルアップにつながった。また、参加したNPO法人から団体の課題や内情を知ることができて、今後のNPO法人支援の参考になった。

☆大学との連携の推進

箕面市と包括協定を結んでいる大阪大学との連携を中心に、昨年に引き続きみのお市民活動センターや阪大キャンパスを会場に外国語学部の学生たちと行政担当室とともに市民向けの公開講座を協働開催した。

【成 果】

- 地域市民やNPOとの交流の場がなかなかない外国語学部の学生たちが、市民に自分たちの学習の成果や市民の方たちとの触れ合いを経験して貴重な経験をすることができた。また、NPOや地域の方も、学生たちと身近に交流したり自分たちのPRの場にしたりと有意義な時間になった。

☆東日本大震災の復興支援活動を通じた団体間のマッチング・連携

震災から5年の節目を迎え、恒例の聖母被昇天学院による募金活動と聖歌隊、箕面ユネスコ協会の協力による復興支援の物産展と代表坂口一美さんによる「気仙沼復興横丁」を開催した。また、ほっとコンサートの仲間たちから生まれた「手をつなごうチャリティコンサート」も、震災直後から6回目を数えるイベントとして側面支援に徹し、実行委員会メンバー中心になり開催した。

【成 果】

- 「東日本大震災復興支援～3.11を忘れない～」では、聖母被昇天学院による聖歌隊のチャリティコンサートと被災地支援基金「せんだい・みやぎNPOセンター『はばたけファンド』」の募金活動を行い、80,041円を集めた。「気仙沼復興横丁」の取り組みは、前日の朝日新聞の掲載で知り初めてセンターに来館されたという方もおられた。
- 恒例になった「手をつなごうチャリティコンサート」は、メイプル小ホールで15団体の参加による2回公演を開催。募金156,040円を山形県で活動する「葉っぱ塾」に寄付した。

[NPOの担い手を増やす]

☆箕面のボランティア情報を若者向けに発信

「NPOサポーター情報誌」での情報発信は今年度から廃止したが、学生を中心にしたNPOの担い手をターゲットに、ウェブサイト「v-info」を12月から試行運転を始めた。

【成 果】

- ハンドブック掲載団体を中心に募集をかけボランティアメニューを提供し、毎月1日に更新して情報発信している。

1. みのお市民活動センター指定管理にかかわる事業

1) 情報収集及び提供に関すること

① 情報収集・提供

I. 市民活動データベース・ホームページ管理運営



みのお市民活動センターホームページを管理・運営し、市民活動センターの事業をはじめ、市民活動に関する情報提供及び市内のイベント等の広報支援を行った。

また、ハンドブック発行に伴い、デジタル配信を行った。

〔年間アクセス総数〕 2015年度:11,803件(前年度:10,605件)

※データ拠出元:Google Analytics

II. 専門的情報収集(視察・見学受け入れ)

日	視察・見学者
6月16日(火)	長浜市
9月11日(金)	東大阪市(施設見学)
10月21日(水)	福岡市立西市民センター(施設見学)
10月29日(木)	北中城村アワセ土地区画整理組合(キューズモール視察の一環として)

全4件(前年度2件)

III. 人材バンク事業(サポーター登録)

NPOにサポーター(ボランティア)として関わってみたい市民の方の登録を受け付け、随時紹介を行っている。登録時期に応じて、日常的な活動やイベントなどのサポーターとして紹介した。登録後は自主事業とも連動させ、隔週の割合で「サポーターニュース」を配信している。

また、NPO法人暮らしづくりネットワーク北芝が発行している地域通貨「まーぶ」を活用して、小学生から高校生までの子どもたちを対象にサポーターも募り、NPOフェスタや自主事業に参加協力してもらった。

今年度は、大和ハウス工業(株)北摂支店とサムスン(株)大阪分所の社員対象に、企業のCSR(社会貢献活動)のためのメニューを提供し、秋のイベントを中心に10事業のべ28人が参加された。

《サポーターの主な協力内容》

- ・7月18日(土) のぞきからくり:設営、撤収作業
- ・8月2日(日) まんどろ火祭り:たいまつ作りなど
- ・8月29日(土) 森の音楽会:チラシ配布、撤収
- ・9月5日(土) 萱野小コミセン夏まつり:受付
- ・9月5日(土) ゆめ☆まつり:準備、出店サポート、撤収
- ・9月20日(日) NPOフェスタ:準備、当日受付、記録、チラシ配布、出展団体のサポート
- ・10月17日(土) 千里川美化活動:川の清掃
- ・10月18日(日) 山とみどりの市民イベント:設営、受付
- ・12月23日(水) アーティスト展:撤収

② ニュースレター(みのお市民活動センターニュース)

みのお市民活動支援金、NPOフェスタなど、センター事業の報告・告知を中心に紙面を作成した。普段、市民活動にあまり馴染みのない市民の方々にも気軽に手にとってもらうことを意識して、構成面、デザイン面でマイナーチェンジを試行。団体のインタビュー記事、イベントや講座開催の告知を掲載し、イラストと写真のレイアウト、紙面の色合いなどのビジュアル効果も考慮した。



- ◆回数 3回(43号、臨時号、44号)
- ◆部数 各1,000部
- ◆体裁 43号、44号:A4版カラー 4ページ
臨時号:A4版カラー 2ページ
- ◆配布先 箕面市内公共施設、市内NPO、各地NPO支援センターなど

《各号の内容》※直近のセンター事業報告、助成金情報は毎号掲載

号数 (発行月)	頁数	主な内容
No.43 (8月)	4	〈特集〉「夢の実支援金」平成27年度交付決定!! 〈特集〉「夢の実支援金」昨年度交付団体にインタビュー ～交付事業その後どう?～ 〈お知らせ〉みのおNPOフェスタ開催/スキルアップ講座/ボランティア募集 〈救急箱〉伝わるチラシづくりのコツ
臨時号 (11月)	2	〈特集〉NPOフェスタ開催しました {イベント当日の様子、関連イベント(団体持ち込み企画、NPO活動パネル展)}
No.44 (3月)	4	〈特集〉市民活動をサポートする講座 {みんなで選ぶワンコイン講座、スキルアップ講座} 〈お知らせ〉2015年度「夢の実支援金」成果報告会・夢の実支援金2016年度募集 〈ニュース〉大阪大学大学院言語文化研究科・外国語学部生による「公開プレゼンテーション2016」 〈報告〉みのお市民活動・ボランティアハンドブック発行/ボランティア情報サイト「v-info」開設 〈救急箱〉ボランティア受入・参加の心構え

③ みのお市民活動・ボランティアハンドブック



- ◆名称 みのお市民活動・ボランティアハンドブック 2016
- ◆部数 700部(うち200部は(社福)箕面市社会福祉協議会・箕面市社協ボランティアグループ連絡会経由で配布)
- ◆体裁 A5版縦・表紙カラー・本文モノクロ(262ページ)
- ◆掲載団体 211団体
- ◆配布先 ハンドブック掲載団体、市内公共施設、市立小中学校、市民活動・ボランティアに関心を持つ市民など

(社福)箕面市社会福祉協議会ボランティアセンター、箕面市社協ボランティアグループ連絡会の協力を受け、三者協働で編集・発行。2014年度に実施した「箕面市民活動実態調査」の回答団体を中心に掲載を依頼。前回(2013年度発行)の197団体を大きく上回る数の団体を掲載できた。コンパクト化を目指して体裁も従来のB5版からA5版に変更し、1ページあたりの掲載団体数を3団体から1団体にして画像掲載スペースを拡大した。

2) 講座の開催、その他啓発に関すること

① みのおNPOフェスタ



今年度は9月中をNPOフェスタ期間とし、20日のメインのイベントを中心に、パネル展、NPO団体企画を開催、市民の方にNPOの魅力を発信した。会場を4つに分けて、参加団体の特色を活かせるものとなるよう企画を打ち出した。団体の皆さんのチームワークに支えられて、実りあるイベントになった。

- ◆日 程 8月29日(土)～9月30日(水)
- ◆会 場 みのお市民活動センター・かやのさんぺい橋
センター玄関前・キューズモール エルステージ
- ◆参加団体 35団体(約150人)
- ◆参加者数 <20日>(4会場)2,000人、(クイズラリー)503組
- ◆内 容 NPOの活動紹介パネル展示、体験、販売など
<特別展示>「箕面の四季・道端のお地藏さん」

協力:みのお市民まちなみ会議

<ステージ> 太鼓サークル 蛸
エルステージ 音響ステージ企画:あひるの会



〔NPO団体企画(1日～30日)〕

- 9月2日(水)、8日(火)、25日(金)「子育て支援ネットワーク交流会」(市民活動フォーラムみのお)
- 9月13日(日)「CAPの地域向け おとなワークショップ」(ひとつぶのたね CAPぐるーぷ)
- 9月13日(日)「まちなかスタンプラリー」(みのお子育てマップアプリ)
- 9月21日(月)「手づくり健康アロマ&ハンドトリートメント、カードカウンセリング」(日本メディカルアロマ
セラピー協会関西支部)
- 9月24日(木)「無料体験ヨガ」(Aヨガサークル)
- 9月25日(金)「IT&PC関連 市民対象のお困りごと相談」(シーエスエス(CSS))
- 9月30日(水)「子連れで着物とお茶を楽しもう」(はんもっく)

〔記念フォーラム(19日)〕

「日常の気づきから描きたい未来をつくる」

- ◆日時・会場 13:00～15:00 多目的室
- ◆参加者数 16人(12団体)
- ◆講師 菊池信孝さん
(NPO法人インターナショナル代表)



② 市民活動スキルアップ講座

I. 「組織と活動と財源の成長をめざす！ 助成金活用講座」



- ◆日 時 5月20日(水)19:00～21:00
- ◆会 場 みのお市民活動センター 会議室
- ◆講 師 河合将生さん(NPO組織基盤強化コンサルタント office musubime代表)
- ◆参加者 8人

NPOの資金調達や支援者拡大についての講義の後、ケーススタディからファンドレイジングを企画するワークショップをした。

II. 「次世代とともに活動する組織づくり」



- ◆日 時 8月20日(木)19:00～21:00
- ◆会 場 みのお市民活動センター 多目的室
- ◆講 師 稲井信也さん(NPO法人みのお山麓保全委員会 代表理事)
村上竜太さん(箕面の山パトロール隊 事務局長)
- ◆参加者 14人

講師の事例を参考に、次世代のメンバーをどう巻き込み、力を発揮できる体制をつくるかを考えた。

III. 「組織と事業のステップアップ講座」



- ◆日 時 10月14日(水)10:00～12:00
- ◆会 場 みのお市民活動センター 多目的室
- ◆講 師 河合将生さん(NPO組織基盤強化コンサルタント office musubime代表)
- ◆参加者 11人

組織基盤強化のポイントや、団体や事業の成長過程についてのレクチャーを織り交ぜながら、チャートを使ってそれぞれ自団体の組織診断をした。

IV. NPOお悩み相談会「理事会と事務局の役割分担」



- ◆日 時 12月15日(火)19:00～21:00
- ◆会 場 みのお市民活動センター 会議室
- ◆講 師 柳瀬真佐子さん
(吹田市市民公益活動センター(ラコルタ) センター長)
- ◆参加者 5人

事務局のタイプ別の役割分担のレクチャーの後、理事会と事務局の関係における課題について意見交換をした。

V. 「市民活動の決算基本講座」



- ◆日 時 2月23日(火)10:00～12:00
- ◆会 場 みのお市民活動センター 会議室
- ◆講 師 須貝昭子((特活)市民活動フォーラムみのお 理事長)
- ◆参加者 5人

決算報告の基本的な考え方、決算書類の作成方法、領収書類の管理などを学んだ。

VI. NPOお悩み相談会「どう築く？お店とNPOのイイ関係」



- ◆日 時 3月31日(木)19:00～21:00
- ◆会 場 みのお市民活動センター 多目的室
- ◆講 師 秋田英幸さん(箕面商工会議所専務理事)
- ◆参加者 7人

連携相手の見つけ方、お店にアプローチをする際のポイントを学んだ後、参加者も交えて意見交換をした。

③ 施設を活用した非営利公益市民活動の啓発、交流促進

市民活動センターの機能を分かり易く説明した掲示物を作成。子育て情報・助成金コーナーや各種ボランティア団体のイベント情報等の見やすい掲示を目指し改善中。



3) 相談に関すること

① 専門家相談

福祉分野の団体から、固定資産や税務の相談が持ち込まれたこともあり、例年は会計基準の啓発のための勉強会をしたあとに個別相談を行っていたが、他にも専門家に直接相談の方が効果的であると思われる団体も想定して、今年度はNPO法人の会計担当者を対象に団体個別相談を行った。

I. 会計専門家相談

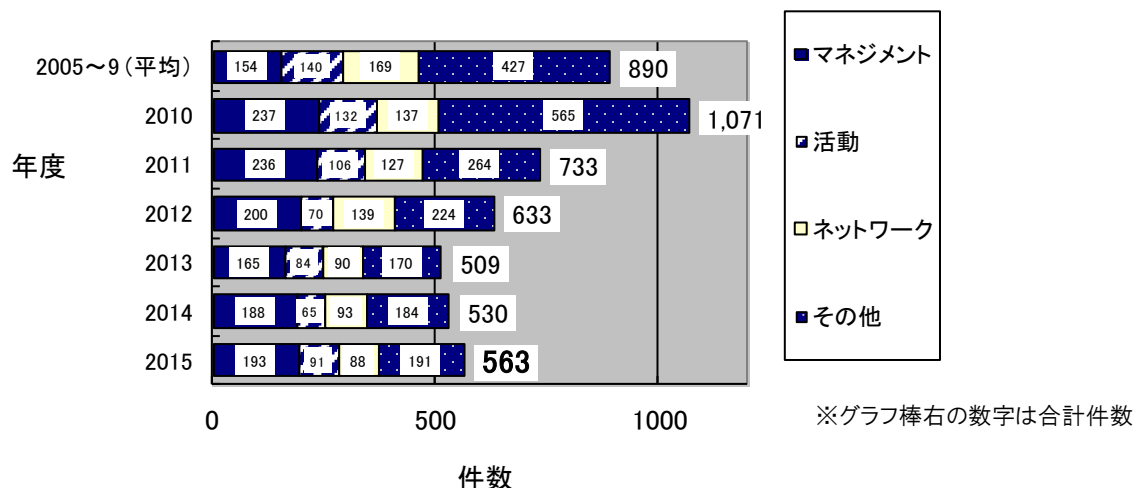


- ◆日 時 4月24日(金)10:00～12:00
- ◆会 場 みのお市民活動センター 小会議室
- ◆講 師 荻野俊子さん(NPO会計支援センター代表)
- ◆参加者 2団体

② 一般相談

事務局スタッフがセンター窓口などで市民活動に関する相談を受けた。件数では、前年度に続き微増傾向にあり、年間で563件を数えた。

相談件数の推移(2005年度～2015年度)



相談項目の説明(旧分類)

- マネジメント : 助成金申請、NPO条例登録、NPO法人化など
- 活動 : 団体立上げ、組織運営、団体の課題
- ネットワーク : 団体・個人・施設などの紹介
- その他 : 上記以外(NPOの現状、依頼、施設についての相談など)

《参考》新分類カテゴリー表

旧分類	大分類	中分類	内容(小分類)	説明
ワーク ネット	ワーク ネット	ワーク ネット	団体の紹介・仲介(団体から)	関係者・支援者の紹介・仲介(団体からの相談)
			団体の紹介・仲介(個人から)	サポーター(ボランティア)希望者へ受入団体の紹介など(個人からの相談)
			その他ネットワークについて	上記以外のネットワークづくりに関する相談
マネジメント	組織管理	各種申請・手続き	NPO法人の設立	NPO法人制度についての説明、定款の作成についての助言、など(設立前)
			NPO法人の運営・解散など	事業報告についての説明・助言、定款変更、解散についての相談、など(設立後)
			NPO条例登録	NPO条例登録制度の趣旨・手続きの説明・助言など(登録前)
			NPO条例登録変更など	NPO条例登録事項変更・削除の手続き等についての説明・助言など(登録後)
			その他申請書類等の作成等について	その他公的機関等への申請書類の作成についての助言など(支援金・助成金申請は別カテゴリーへ)
		会の運営・組織	会則等、運営ルール	会則の作成・変更についての助言、運営ルールの確立についての相談、など(きまりをつくる部分)
			組織内コミュニケーション	組織内のコミュニケーション、会議の進め方、意思決定の仕組みについて、など(きまりをまわす、運用する部分)
			会計管理・税務	会計処理の仕方、税務について、など
			労務管理	職員の労務管理についてなど
			その他会の運営について	上記に当てはまらない、会・組織の運営に関わる事柄について
	資源	会員・サポーター等	会員獲得	新規会員の募集、会員数の維持、など
			サポーターの獲得	サポーターの募集、維持について、など
			その他関係者の巻き込み等について	上記以外の組織のステークホルダー(関係者)の巻き込みについて
		資金・物品調達	支援金	支援金についての説明、申請に関する相談、報告についての相談、など
			助成金(補助金)	(支援金以外)助成金、補助金についての情報、申請についての助言、など
			物品調達	物品(パソコン、ソフトなど)調達について、事務所物件探しについて、など
			寄附集め	寄附集めの方法・取り組みについてなど(相談者が取り組むもの)
			その他資金・物品調達について	資金調達全般など、上記に当てはまらない資金・物品調達に関わることがらについて
活動	事業	事業	事業計画の作成	事業の立ち上げ(大まかな事業計画の作成)、事業計画の具体化、など
			事業の広報(参加者確保)	イベント等事業の参加者確保、呼びかけ方法について、など
			その他事業について	その他の事業計画・実施に関わる課題についてなど
その他	依頼・問い合わせ等	依頼・打診	依頼・打診(ソフト的部分)	講師、コーディネーターなどの依頼(フォーラムスタッフまたは組織に対して)
			センターの施設・備品について	センター施設や備品の使い方についての相談、依頼(フォーラムが管理するハード面についてのもの)
		問い合わせ等	市民活動の現状について	市民活動についての一般的な情報の提供(箕面市のNPO法人数は?など)、他NPO主催事業の案内、など
			主催事業について	センターまたはフォーラム主催事業についての問い合わせ、相談
			地域情報、他主催事業について	行政等NPOセクター以外が実施している事業についての問い合わせ(川床、かやの広場フリーマーケット、など)
			行政施策について	箕面市等行政の施策についての問い合わせ(コミュニティバス、パブコメ、など)
			その他一般的な問い合わせ等	上記に当てはまらない問い合わせ等

4) 交流の促進に関すること

① 利用者協議会の開催

交流促進の位置づけでセンターの事務ブース利用団体、利用料減額認定団体^(※)に呼びかけて開催。センター事業の周知を行うとともに利用者の意見・要望を伺い、また団体同士の情報交換の場ともなっている。

※ 利用料の減額は、箕面市内の非営利公益市民活動団体で、フォーラムみのおが認定した団体の利用について適用。減額分は、フォーラムみのおからの実質的な資金支援となっている。

※ 2015年度減額金額は、合計で181,220円(利用日起算)、減額認定団体は22団体。

回	日時	主な内容	参加者数
1	6月30日(火) 14:00~16:00	出席団体活動紹介、センター事業紹介、話題提供(予約システムに関して)、センターの備品、設備に関して、その他意見交換と交流	16団体 (17人)

② 子育て支援ネットワーク交流会

2009年度から就学前程度の子育て当事者を中心とする子育て支援団体を対象に、子育て支援に関わる課題をテーマに交流会を開催している。2014年度まで事務局を担っていたNPO法人はんもつは、夢の実支援金交付事業である「みのお子育て支援ネットワーク」のサイトを立上げ、「子育て支援活動カレンダー」をスタートさせているが、今年度は、NPOフェスタ期間中に、市の子育て支援施策の状況や活動状況などを情報交換する情報交換会を1回、子育て支援情報提供の窓口を2回開催した。

I. 子育て支援ネットワーク 情報交換会(NPOフェスタ 部屋企画)

- ◆日時 9月2日(水)10:00~12:00
- ◆会場 みのお市民活動センター 会議室
- ◆参加者 2団体



II. 子育て支援の情報交換窓口設置

- ◆日時 9月8日(火)13:30~15:30
9月25日(金)13:30~15:30
- ◆会場 みのお市民活動センター フレキシブルコーナー

③ 地域資源活用による地域コミュニティの活性化

地域と市民活動の連携をより一層深めるため、自治会をはじめとする地域コミュニティの構成団体と地域課題の解決に向けて意見交流するのを目的に実施。

I. アップサイクルプロジェクトの協働サポート

支援金申請で繋がった船場西地区連合自治会の今後の活動展開を受けて、支援金交付団体の[vvv]ヴィークラフトの支援金事業と繋げ、萱野小校区こども会、阪大環境サークルGECSリサイクル班、萱野小コミセン運営委員会との連携が生まれ、廃材を使ったこどもワークショップを開催した。



アップサイクルデザインワークショップ「GOMIで宝物をつくろう」

- ◆日 時 2月6日(土) 9:30～16:00
- ◆会 場 萱野小コミュニティセンター「くすの木の家」
- ◆参加者 約100人

《内 容》・廃材を使ったモノづくり体験会

- ・阪大環境サークルGECS「古紙でステキなカードづくり」
- ・空じなしの「かえっこ抽選会」みんなが持ってきたものを抽選でもらえるよ！
- ・メキシコ生まれのクラフト体験「ヴィークラフト・ポーチ教室」

II. 公開プレゼンテーション 2016

大学連携の一環として、大阪大学大学院言語文化研究科および外国語学部の学生による公開プレゼンテーションの共催団体として会場協力などを行った。

(1) 「INDONESIA」世界の文化を知ろう！～阪大生たちが見た“生きた学び”～



- ◆日 時 1月31日(日)13:30～16:00
- ◆会 場 みのお市民活動センター 多目的室
- ◆参加者 29人

(2) 「SWEDEN DENMARK」～スκανジナヴィアの食文化を知る-デンマーク語専攻・スウェーデン語専攻の阪大生とともに～



- ◆日 時 2月7日(日)13:30～16:00
- ◆会 場 みのお市民活動センター 多目的室
- ◆参加者 26人

(3) 「ITALIA」世界の文化を知ろう！～阪大生たちが見た“生きた学び”～



- ◆日 時 2月11日(木・祝)13:30～16:00
- ◆会 場 大阪大学箕面キャンパス 研究講義棟1階
プレゼンテーションルーム
- ◆参加者 22人

(4) 「TAIWAN」世界の文化を知ろう！～阪大生たちが見た“生きた学び”～



- ◆日 時 2月20日(土)13:30～16:00
- ◆会 場 大阪大学箕面キャンパス 研究講義棟1階
プレゼンテーションルーム
- ◆参加者 40人

5) 調査・研究

① 箕面市市民活動団体実態調査

前年度末に配布・回収を行ったアンケート調査を集計・分析するとともに、回答内容を補完すべくヒアリング調査も実施。箕面市非営利公益市民活動促進委員会(NPO促進委員会)での中間報告を経て、結果を報告書にまとめた。

なお、報告書の考察の中では、今後に向けて①団体の事業規模等の類型に応じたアプローチをとること、②新規の立ち上げ・活動への新しい関わり方を支援すること、③NPO活動の社会的価値を「見える化」して地域での認識を向上させること、を提案している。

(ア) アンケート調査

- A) 調査対象 箕面市内の非営利公益市民活動団体(最終 168 団体から回答)
- B) 調査時期 2015 年 1 月～3 月
- C) 調査項目 団体の基礎情報、年間活動日数、年間支出、収入源、組織規模、課題等

(イ) ヒアリング調査

- A) 調査対象 アンケート回答団体の中から 8 団体を抽出して実施
- B) 調査時期 2015 年 5 月～6 月
- C) 調査項目 団体が活動していくうえで困っていること(課題)、センターや市が行える支援

② ポータルサイト設立の準備

みのお市民活動センターのホームページ(Webサイト)について、より多くの方々がそれを通じて市民活動に関わる様々な情報へと繋がってくれるような「ポータルサイト」的なものへとしていきたいという願いのもと、センターとしてのWebサイトのより効果的な活用を検討するために実施。その一環として2015年度には、団体ヒアリングの実施、ボランティア情報サイト「v-info」の試験構築・運用、有識者による意見交換の場の開催を行った。

I. 団体ヒアリング

市内団体のインターネット利用の実態やホームページに関するニーズを探るために実施。対象は、一定程度インターネット活用をしていることが想定される団体 6 団体を選定して依頼・実施した。

(ア) 対象 6 団体

- (イ) 内容
- ① 団体のインターネット活用状況
 - ② みのお市民活動センターホームページの閲覧・利用状況
 - ③ みのお市民活動センターホームページへの要望等

II. ボランティア情報サイト「v-info」



近年、情報収集手段がウェブ化していることもあり、ボランティア情報を提供するサイトを開設した。

開設の背景に、箕面近隣のボランティア情報を集約したサイトが存在せず、そもそもウェブ上に情報が少ないという現状があり、学生ソーシャル広報チーム“promo”の昨年度活動からも、学生たちが情報を集めるのに大変苦労しており、特に若い世代にとっては情報収集にウェブが不可欠で、情報が見つけにくいとボランティア参加のしきいが高くなるという課題が浮き彫りになった。

このサイトについては、上記課題を解決する目的だけではなく、ホームページのポータルサイト化やサポーター情報誌のデータベース化検討など関連する事業においても、ノウハウと市民活動・ボランティアに関する現況を活用していく。

- ◆サ イ ト 名 「v-info」箕面のボランティア情報 (<http://v-info.minoh-npo.com/>)
- ◆コン テ ン ツ
 - ・ボランティアに参加したい
 - ・ボランティアを募集したい
 - ・ボランティアのマナーと心がまえ
 - ・サイト運営団体/問合せ
 - ・サイトポリシー
- ◆特 徴
 - ・主な閲覧者に次世代(20歳前後の若者、大学生)を想定
 - ・スマートフォンでの閲覧を意識した仕様(パソコン、ガラケーでも利用可能)
 - ・求人情報は団体から提供(フォームから送信)、事務局が精査して掲載
 - ・求人情報は毎月更新
- ◆公 開 日 12月14日
- ◆求人掲載実績 月平均10件(12月～1月:9件、2月:12件、3月:11件)



QRコード

III. ホームページ意見交換会

団体へのヒアリングと「v-info」3カ月分の試験実施を経て、有識者等にご参加をお願いして年度末に開催。現在のセンターホームページについても様々にご意見をいただいた。

1. 日 時 3月29日(火)15:00～17:00
2. 場 所 みのお市民活動センター 多目的室2
3. 出席者 8人(他市中間支援組織スタッフ・事業者等有識者、箕面市職員、およびセンタースタッフ3人)

6) 市民活動に係る支援に関すること

① 市民活動支援金交付事業

I. 支援金実務

限られた支援金をより効果的に活用してもらうため、下記の点を変更した。



- ・募集スケジュール・回数の変更(2回→1回)
- ・「みんなで支えてこ」(定常活動支援)コースの廃止
- ・支援率の上限を 90%→75%に変更
- ・コンサルタントサービスの追加
- ・一般市民からの応援・資金提供の促進

募集	プレゼン・審査	申請数	交付数	申請額	交付決定額
5/20～6/8	6/27	16 件	9 件	5,414,359 円	2,653,000 円

※(支援金原資)2,500,000 円+(前年度繰越)153,059 円-(交付額)2,653,000 円=59 円は、次年度へ繰越

【2015 年度交付事業・団体一覧】 ※ 団体名「事業名」＜交付決定額＞ の順で記載

〔立ち上げ応援！コース〕

- 坊島自治会
「夏休みわくわく教室」＜50,000 円＞
- タッキー816 応援団
「タッキー816「街角レポーター」制度 事業」＜87,000 円＞
- NPO法人 はんもつく
「PTA応援団」＜70,000 円＞

〔発展応援！コース〕

- あひるの会
「小中規模イベント・行事の企画・制作・運営の支援(音響・演奏・照明の支援)」＜500,000 円＞
- ママトリエ
「ママコミュニティ プニカ」＜500,000 円＞
- [vvv]ヴィークラフト
「廃材のアップサイクルで、地球と人にやさしい地域社会をめざす!!」＜320,000 円＞
- ダウン症児応援プロジェクトめばえ 21 (「ダウン症児支援の会めばえ 21」に改称)
「ダウン症児の「やってみたい」応援教室evolution」＜636,000 円＞
- ボランティアグループがってんだ
「なんでもやったるDAY！」＜290,000 円＞
- 特定非営利活動法とどろみの森クラブ
「セラミックビーズを用いた水耕栽培法の開発と地域住民への普及」＜200,000 円＞

II. 支援金交付後のサポート

資金提供だけでなく、外部専門家によるコンサルティングも、支援金交付事業団体(希望者のみ)に対して実施した。5 団体が希望し、NPO組織基盤強化コンサルタントoffice musubimeの河合将生さんにそれぞれの団体に対してコンサルティングをしていただいた。交付事業のブラッシュアップだけではなく、事業を支える組織運営についても助言をいただいた。コンサルティングを受けた団体からは、「目標や現状のポジションが理解できて、自信をもって事業遂行できるようになった」「今後の方向性とビジョンが見えてきた」と好評だった。

② みのお市民活動支援金成果報告会

- ◆日 時 2016 年 4 月 23 日(土)13:00～15:00
- ◆会 場 みのお市民活動センター フレキシブルコーナー
- ◆報 告 8 団体
- ◆コメンテーター 河合将生さん(office musubime代表、みのお市民活動支援金交付検討会議委員)
三井ハルコさん(特定非営利活動法人 市民事務局かわにし 事務局長、みのお市民活動支援金交付検討会議委員)

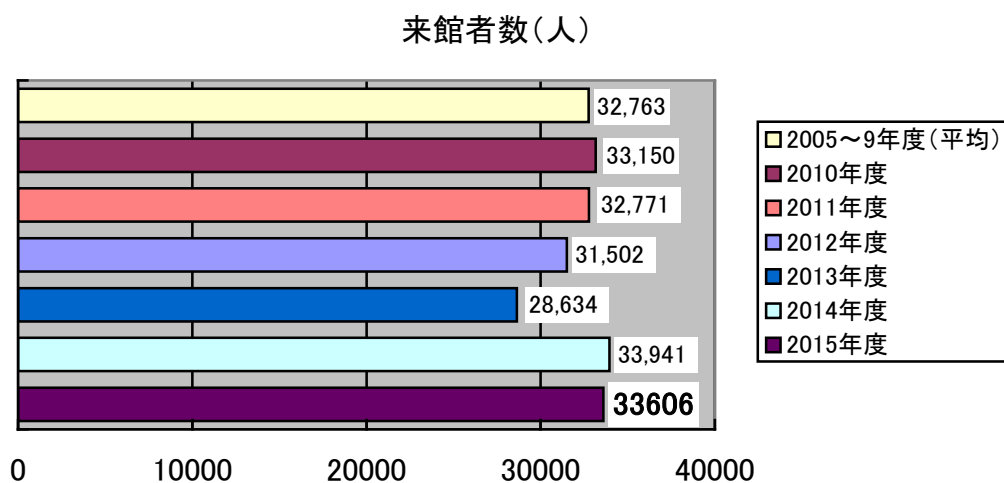
2015 年度に支援金の交付を受けた団体が参加し、交付事業の成果の発表を行った。また、コメンテーターの質疑応答によって、励ましや事業のヒントをいただいた。

さらに、夢の実応援チャリティのしくみによって、会場から発表団体に対して寄附(9,750 円)や応援コメントが寄せられた。

7) 場所・施設の提供(センターの施設管理)

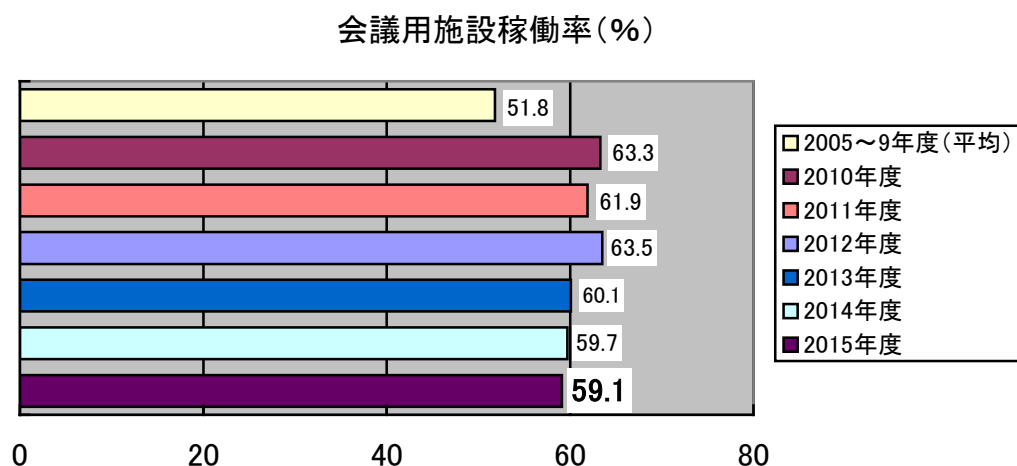
① センター管理業務

I. センター来館者数



来館者数は、前年度より若干減少したものの、依然として高い水準である。

II. 会議用施設稼働率



会議用施設稼働率は前年度に続き 60%を下回り、わずかではあるが前年度からさらに低下している。

III. 活動用施設利用状況(2016 年 3 月末現在)

	利用料 (月額)	総 数	利用数					
			2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
事務ブース	5,100 円 (3年超は 8,200 円)	12	12	12	11	12	12	12
倉庫	510 円	24	24	24	24	24	24	24
ロッカー	510 円	32	25	21	21	18	19	19
メールボックス	無料	48	39	42	43	44	44	40

若干の利用団体の入れ替えがあったが、全体としては前年度末と同様の利用数になっている。

IV. 付属設備利用状況

《利用料金》

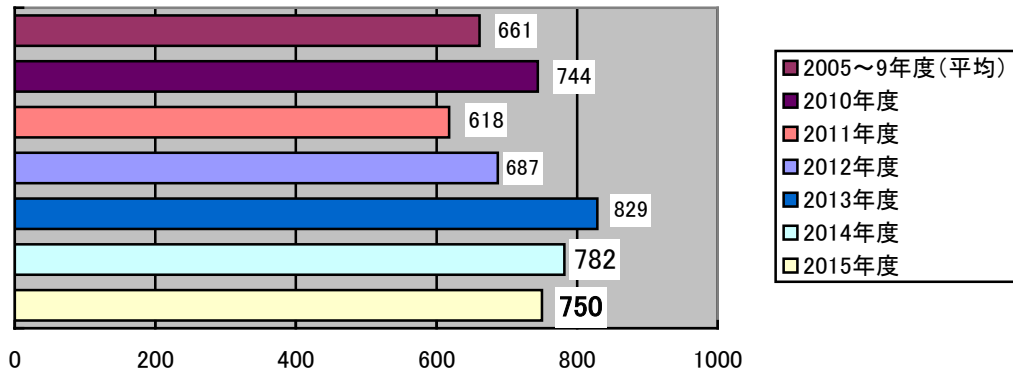
※単位は千円(100 円の単位で四捨五入)

	2005～9 年度平均	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度 (対前年度比)
印刷機	661	744	618	687	829	782	750 (95.9%)
コピー機	219	399	307	242	228	231	182 (78.8%)

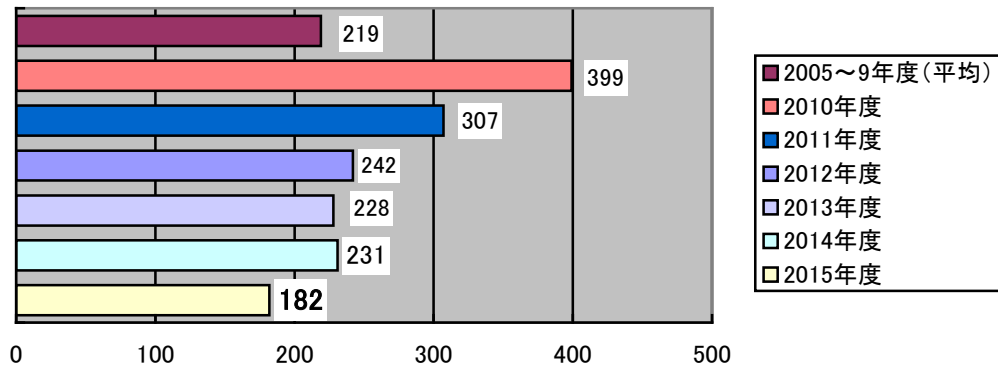
※平均値および比率は四捨五入後の料金で計算し、小数第 2 位で四捨五入した値。

印刷機、コピー機ともに、前年度より利用が減少している。特にコピー機については、減少幅が大きくなっている。

印刷機利用料金(千円)



コピー機利用料金(千円)

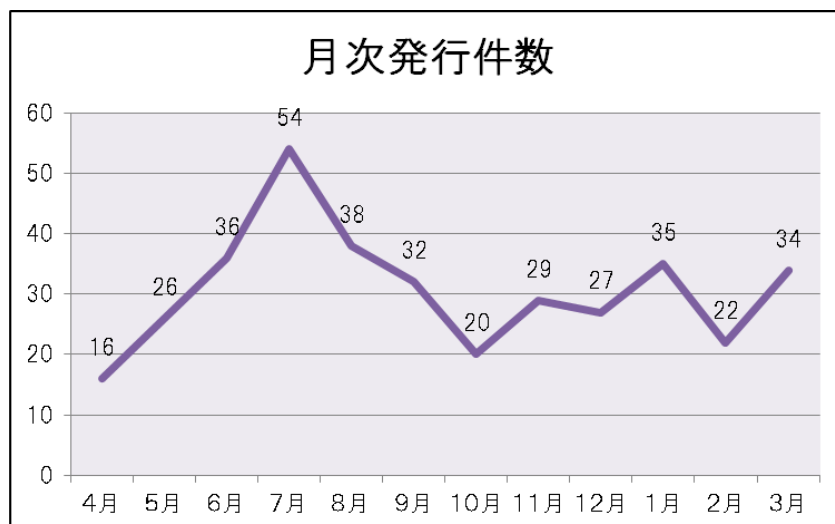


② 証明書発行業務

今年度より箕面市の窓口で実施している住民票の写しなどの証明書発行サービスが追加され、市内にある公共施設の1つとして、市民サービスの向上に貢献してきた。

個人情報を取り扱うことになり、事前に職員研修などを行い、準備を整えてきた。結果として、事故もなく遂行してきている。

下のグラフのとおり、月毎に件数の差はあるものの、年間で369件、1日平均で1件強の発行を行った。



2. 自主事業

1) 情報収集・提供

① ニュースレター(市民活動フォーラムみのおニュースレター)



- ◆回数 3回
- ◆部数 各1,000部
- ◆体裁 B5版6ページ(vol.2のみ8ページ)
- ◆配布先 市民活動フォーラムみのお会員、各地NPO支援センター、関係団体、カフェなど店舗、他にも設置を依頼している。

	発行	主な内容
Vol.1	4月	<ul style="list-style-type: none"> ●特集「子どもへの暴力のない社会をめざして～ひとつぶのたね CAPぐるーぷ～」 ●事業告知(学生ソーシャル広報チームメンバー募集ほか) ●事業報告(チャリティタウン・ほっとコンサートほか) ●その他(活動報告一覧、広告)
Vol.2	9月	<ul style="list-style-type: none"> ●特集「子どもたちが子どもたちのために創った“子どものお城”がオープン！」 ●事業告知(みのおチャリティタウンプロジェクトほか) ●事業報告(まんどろ火祭り、アーティスト展ほか) ●その他(活動報告一覧、広告)
Vol.3	2月	<ul style="list-style-type: none"> ●特集「調べ、記録し、伝える 市民の関わりで残す照葉自然林」 ●事業告知(3.11を忘れない アートの広場 ほか) ●事業報告(もちつきイベント・ほっとコンサートほか) ●その他(活動報告一覧、広告)

② メールニュース(かわら版・サポーターニュース)

- ◆回数

かわら版	24回(311号～334号)+臨時号2回
サポーターニュース	24回(252号～275号)+臨時号1回
- ◆送信数

かわら版	Eメール 64件	ファックス 3件
サポーターニュース	Eメール 94件	ファックス 10件
- ◆内容 フォーラムみのおが関係する事業、団体会員の事業、助成金情報など

会員に対し、Eメールまたはファックスでニュースを定期的(原則的に第1・第3水曜日)に配信。

③ ホームページ管理運営



フォーラムみのおとしてホームページを運営し、随時更新を行った。フォーラムみのおが主催・共催する事業(センター事業含む)、事務局を担う事業等の広報を行うとともに、年度の事業計画、事業報告、決算報告書類、役員名簿等の団体の基礎情報の公開も行っている。

2) 団体の運営・活動に関する連絡、相談、啓発、支援

① 活動支援事業

I. 市民活動応援ファンド(募金状況)

2015 年度は、ファンドへの寄附は引き続き受付していたものの、助成募集・交付は実施に至らなかった。

II. みのおチャリティタウンプロジェクト



(左)チャリティもちつきイベント
(右)寄附付き商品の一例。
手づくりスイーツ一品につき
50 円が寄附になる。

- ◆実施期間 12 月 1 日(火)～2 月 29 日(月)
- ◆場 所 箕面市内提携店舗 19 店舗
(飲食店、雑貨店、ヘアサロン等) +1 イベント
- ◆参加人数 のべ 3,780 人
- ◆寄附総額 113,869 円
- ◆内 容 実施期間中、提携店舗で食事や買い物をする、売上の一部がNPOへの寄附になるという仕組み。
寄附先は、プロジェクト参加NPO(3 団体)の中から参加者(購入者)がその場で選ぶ。もしくは 3 団体へ均等配分。
今年度は、プロジェクトの認知向上と運営費確保のため、市民活動センターにて、チャリティーもちつきイベントを実施した。300 人以上の参加者から、36,646 円の寄附をいただいた(左写真)。この他、市民活動センターの窓口でも3団体宛ての封筒寄附を合計 23,500 円いただいた。

◆今年度のまとめ

寄附先団体となる条件を新たに設けた為、結果的にエントリーの団体数が絞られたが、1 団体あたりへ手渡す金額は増えた。まだまだ成果に対するコスト(広報物作成・回収・集計)の大きさが課題。

Ⅲ. 活動・情報の交流会等の支援

A) かやの中央まち育て交流会

かやの中央のにぎわい創出を目的に、かやの中央を流れる千里川の美化活動と河川敷を利用した芋煮会、夏のまんどろ火祭りなどを開催している。地域住民、NPO、行政、みのおキューズモール関連の企業が連携して、月1回の交流会を開いている。



〔交流会〕毎月第2金曜日 19:00～20:00(会場:市民活動センター)

〔活動日〕毎月第2日曜日 午前中(場所:千里川河川敷)

〔芋煮会開催〕◆日時 10月18日(日)10:00～15:30

◆会場 かやの広場横の千里川河川敷

※山とみどりの市民イベントに出展

B) 第12回まんどろ火祭り ※公益信託「みのお山麓保全ファンド」助成事業



かやの中央を流れる千里川河川敷において、地域の子どもたちによる提灯行列や、子どもから大人までがたいまつ行列を行なう伝統行事を復活させたもの。

地域住民、企業、行政とNPOが連携してかやの中央のまち育てを図るこの催しに、フ

ォーラムみのおは事務局として参加している。2015年度は第12回を開催し、地域との協働を進めた。



〔たいまつ作り(たいまつ48本を作成)〕

◆日時 8月2日(日)8:00～10:00

◆場所 箕面市立かやの中央駐車場

◆参加者 32人(行列参加者14人、ボランティア(フォーラムみのおBGC4人、サムスン4人)、まち育て交流会8人、フォーラムみのお2人)



8/2 たいまつ作り

〔まんどろ火祭り〕

◆日時 8月8日(土)19:00～20:00

◆会場 かやの中央(千里川、みのおキューズモールふれあいパーク)

◆内容 まんどろ火祭り(提灯行列、たいまつ行列、麦わらたいまつ)、夜店(4店)15:00～20:00

ステージイベント(雨のため4団体中1団体)15:00～18:20

◆参加者 提灯57人、子どもたいまつ39人、大人たいまつ6人、むぎわらたいまつ5基、保護者約80人

◆来場者 約2,800人

◆スタッフ 50人(ボランティアスタッフ含む)

◆主催 かやの中央まち育て交流会

◆後援 箕面市・箕面市教育委員会

◆協力 北芝たいまつ・むぎわら実行委員会、タッキー816 みのおエフエム、東急不動産株式会社、東急不動産 SC マネジメント株式会社



8/8 ちょうちん行列



8/8 たいまつ行列

IV. NPO事務力アップセミナー&検定



上: チラシ

中: セミナーの様子

下: 労務担当の片岡 誠さん



- ◆日 時 《セミナー+検定》
 〈北大阪〉2月4日(木)10:00~16:30
 〈南大阪〉2月5日(金)10:00~16:30
- ◆場 所 〈北大阪〉みのお市民活動センター
 〈南大阪〉サンスクエア堺
- ◆講 師 〈北大阪〉湯川まゆみ
 NPO法人SEIN 代表理事
 〈南大阪〉須貝昭子
 (特活)市民活動フォーラムみのお 理事長
 〈両会場 労務担当〉片岡 誠
 NPO法人 市民ネットすいた 事務局長
- ◆参加者 《セミナー+検定》〈北大阪〉3人 〈南大阪〉7人
 《セミナーのみ》 〈北大阪〉2人 〈南大阪〉2人
- ◆主催者 特定非営利活動法人市民活動フォーラムみのお
 NPO法人SEIN
- ◆協力 特定非営利活動法人岡山NPOセンター

《内容》

NPO法人の事務局スタッフに求められるNPO法人運営の基礎知識等を検定という形で岡山NPOセンターがまとめた「NPO事務力検定」について、堺のNPO中間支援組織であるSEINと共に昨年度から大阪での開催をスタートさせた。また検定の実施に合わせてセミナーも実施した。

これらは、NPO法人スタッフに向けて事務力アップに関する啓発とスキルアップの支援を行うとともに、協働のパートナーとしての市民、NPO、行政、企業等からNPOへの社会的信頼性向上につなげることをねらったものである。

2年目の開催で対象が限られていることもあり参加者は少なかったが、新たな協力者として労務担当の講師を引き受けて下さった市民ネットすいた事務局長の片岡さんの運営参加など明るい材料もあった。

今後は対象地域の拡大や他市NPO中間支援組織との協働で事業実施することで、従来の情報交換・交流よりも一歩進んだ連携を行うことが期待できる。

① 運営支援委託事業

Ⅰ. 山とみどりの市民イベント(箕面市より受託)



ふれあいパーク(かやの広場)



工作体験(かやの広場)



わくわくステージ
(箕面の森の音楽会実行委員会プロデュース)



(フォーラム)人と自然の共生のために…
身近な箕面の自然を大切にしよう!



パネル展(みのお市民活動センター)

「みどり生き生き みのお生き生き 体験フェア」

日時: (パネル展) 10月13日(火)~18日(日)

(イベント) 10月18日(日) 10:30~15:30

会場: ふれあいパーク(かやの広場) 及び みのお市民活動センター

来場者: 約 2,100 人(期間中来場者総数)

2008 年度より実施しているイベント。山麓保全・河川や公園の美化・自然保護等の活動を行っている市民やNPOで実行委員会を構成し、行政と連携しながら実施した。

〔ふれあいパーク(かやの広場)会場〕

- 工作・体験コーナー
- 山の活動紹介
- 焼き芋・干し柿体験コーナー
- わくわくステージ(野外ステージ) 11:00~15:30
〈出演〉 箕面の森の音楽会実行委員会プロデュース
箕面の森の音楽隊によるリズム遊び
(工作体験で手作り楽器を用いて、会場全体でリズム遊び)
- スタンプラリー: 参加者約 720 人(景品引き換え 281 人)
- 販売: ゆずコロツケ、ゆずサイダー等箕面にちなんだ物品等

〔市民活動センター会場〕

- 人とみどりの市民イベント・フォーラム(参加者: 約 50 人)
「人と自然の共生のために…
身近な箕面の自然を大切にしよう!」
10月18日(日) 16:30~19:00
場所: 多目的室
- パネル展: 来場者数約 500 人(期間中の来館者数合計)

3) 市民活動に関する人材育成

① 人材育成

I. 出合いの広場事業

NPO情報誌等の紹介を中心に市民活動を紹介してきたが、何かしたい、自分のできることで役に立ちたいという方への具体的な場の提供としての広場事業は実施していない。

今後、新たなフレキシブルコーナーでのNPO啓発や活動紹介を積極的に進めて行く予定である。

II. サポーターへの対応



人材バンクに登録(サポーター登録)しているサポーター約 50 人を対象に、サポーター情報の配信や、イベントでのサポーター募集、センターや当会主催のイベント情報などの提供、他団体への人材紹介。また、昨年度総会の際にサポーターをご招待し、感謝状を 24 人に授与した。

III. 地域との連携(ボランティア受け入れ等)

龍谷大学の学外実習生として、山本航さんのインターンシップ受け入れを行った。期間中、夢の実支援金交付事業坊島自治会主催の「夏休みわくわく教室」やNPO法人キッズ&子育て応援隊MerryTime主催「ゆめ☆まつり」、地域の北芝で起業したイチ合同会社主催の 510 デリ(ごとうデリ)開店のイベントがあり、現場の取材に同行してもらったり、NPO関連のデータ作業やブログ更新など、短期間でいろいろと体験してもらった。

◆期 間 8 月 24 日(月)から 9 月 6 日(日)の 2 週間

IV. 高校啓発事業(通年)

出講:須貝昭子

今年度から始まった箕面東高校の「エンパワメントスクール」の参加体験型選択科目の一つである「社会福祉入門」として、通年(前期・後期)で週 1 回出講。学校とのネットワークの構築や、生徒へのNPO啓発を目的として、さまざまな分野のNPOを招いて活動紹介をした。また、2010 年から開催している箕面東高校展(みのひが展)を、今年度も 11 月 22 日から 28 日まで、市民活動センター フレキシブルコーナーで開催し、さまざまな方に学校紹介をした。

【活動の紹介をしていただいた団体】(6 団体、個人 2 組)

みのおアジェンダ 21 の会、トウマイニ・ナンバーニ、箕川・水とみどりの会、ナルクみのお、CAPぐるーぷ・ひとつぶのたね、障害児のためのデイサービス「スマイルアニーズ」

地域ボランティア活動:後藤弘友さん、比護まやさん

V. 学生ソーシャル広報チーム“promo”

市民活動フォーラムみのおの会員となった学生会員とともに、NPOで活躍する人物へのインタビューやボランティアの現場体験を記事にして、学生や若い人向けに発信するプロジェクト。2015年度は参加者がなく、2014年度の課題を踏まえて、別事業「v-info」として、まずは学生や若いボランティアを受け入れ可能なNPOの情報の整理と発信に力点を置いた。

VI. その他講師等出講(単発のもの)

日	内容	会場	出講者
4月18日(土)	阪南市補助金活用講座	阪南市市民活動センター	須貝
8月20日(木)	スキルアップ講座(コーディネーター)	みのお市民活動センター	松木
11月1日(日) 11月7日(土) 11月14日(土)	箕面市議会地域別意見交流会 3回分	西南公民館/箕面市立文化・交流センター/東生涯学習センター	須貝
12月11日(金)	二中ボランティア学習会	箕面市立第二中学校	須貝
12月15日(火)	スキルアップ講座(コーディネーター)	みのお市民活動センター	松木
1月22日(金)	人権セミナー	箕面市役所第3別館	須貝
2月23日(火)	会計決算講座	みのお市民活動センター	須貝
3月8日(火)	「A'ワーク創造館・広告デザイン科」就職講話	A'ワーク創造館	平井
3月24日(木)	東大阪市市民活動ミーティング	東大阪市役所	須貝

4) 市民活動を促進するための社会的な環境の整備

① 団体との連携

箕面市内の市民活動団体、行政等関係機関が多数関わる実行委員会に参加し、イベントの企画・実施を通じて団体との連携を図った。

I. ボランティアフェスタ「いきいきまつり」(ボランティアセンター運営委員会兼務)

昨年度に引き続きライフプラザ(箕面市総合福祉センター)を会場にして開催した。団体のパネル展示と販売、パフォーマンス、活動体験等を行った。



◆実施日 3月12日(土)10:00～16:00

◆会場 箕面市立総合保健福祉センター「ライフプラザ」
2階、1階、中庭

Ⅱ. 「かやの“お宝”人権まつり」



チャリティタウンプロジェクトのPRおよび寄附啓発を目的にブース出展。

フェアトレード雑貨エスパーロに運営協力を依頼して、チャリティタウンプロジェクト提携店舗であるDONUTS DEPT、Café Paletteに出店依頼し、寄附付き商品(当日限定品)を販売した。第二中学校1年生のボランティアの協力もあり、にぎやかなブースになった。

地域の人たちと直接お話することができ、NPOの活動や寄附への理解につながられた。今年度のチャリティタウンプロジェクト実施が12月からのスタートだったのでパンフレット等の広報物が出来ていなかったが良いPRの場になった。

- ◆実施日 10月31日(土)10:00～16:00
- ◆会場 らいとぴあ21、萱野保育所、いこいの家

Ⅲ. 「みのお市民人権フォーラム」

『いっさいの差別を許さないために話す、語る、伝える、分かち合う』をテーマに、全体会と6つの分科会が実施された。市民活動フォーラムみのおは、第1分科会(地方自治)「選挙権年齢の引き下げ」～政治への関心を高めるためには～の企画に参加、パネルディスカッションを行った。

- ◆開催日 12月5日(土)(全体会・分科会)、6日(日)(分科会)
- ◆会場 グリーンホール、らいとぴあ21、萱野小学校、みのお市民活動センター

Ⅳ. アサンプションチャリティデー

聖母被昇天学院で毎年行われているチャリティイベント「アサンプションチャリティーデー」に、昨年度に続き参加した。

販売物は、フォーラムみのおの事業であるチャリティータウンプロジェクトの提携店舗の寄附つき商品を販売した。

- ◆日時 10月24日(土) 10:00～14:30
- ◆場所 聖母被昇天学院 聖堂前芝生



② ネットワーク構築

I. 「もっとネット会議」の開催

市内のボランティア・市民活動の活性化と、多くの市民がボランティア活動に関わる機会を作ることを目的に、2002年に発足。発足以来、年数を重ねて一定程度ネットワークが築けていることから2011年度に「もっとネット」のあり方を見直し、特にネットワークを活かした行動を取る必要がある際には別途「この指とまれ」方式でプロジェクトを立ち上げることとした。通常のもっとネット会議は情報共有の集まりという位置づけに加え、2015年度は防災に関連した連携のあり方や、もっとネット会議ならではの役割について年4回の会議で協議した。

《構成団体》(特活)市民活動フォーラムみのお(主幹)、(社)箕面市社会福祉協議会ボランティアセンター、(公財)箕面市国際交流協会、NPO法人みのお山麓保全委員会、(公財)箕面市メイプル文化財団、タッキー816 みのおエフエム ※進行役・記録・会場提供は持ち回りで担当

日	場 所	内 容	担 当
6月23日(火)	中央生涯学習センター	1) 2015年度の方針について 2) 各団体からの情報	タッキー816 みのおエフエム
8月28日(金)	中央生涯学習センター	1) 各団体からの情報について 2) 第2期地域福祉活動計画について	箕面市メイプル文化財団
11月17日(火)	文化・交流センター	1) 第2期地域福祉活動計画の課題について 2) 各団体の事業紹介	市民活動フォーラムみのお
2月12日(金)	みのお市民活動センター	1) 前回の提案課題について ・人材不足 ・資金調達 2) 来年度事業について	市民活動フォーラムみのお

II. 市民芸術祭実行委員会の参加

脚本、出演者、広報物、舞台衣装等の製作など、ほとんどを箕面市民による手作りの舞台として、箕面市メイプル文化財団主催による「箕面芸術祭」の組織委員会に、NPO中間支援組織として参画している。2015年度は、第11回で芸術祭最終公演となる「レビュー 人形たちの恋物語」を開催した。

※詳細は、3. その他 →1)他団体・組織との連携 ②委員会参画→Ⅲメイプル文化財団で紹介

III. 企業・大学との連携

2015年度は自主事業としての実施は行わず、市民活動センター事業として、大阪大学外国語学部とセミナー等を共催した。

5) その他の自主事業

① 来館啓発及び表現活動の場の提供

I. ほっとコンサート

- [目 的] みのお市民活動センターの周知と賑わいづくり、市民グループの発表と交流の場の提供。
- [広 報] もみじだより、掲示板、箕面片岡邸前、タッキー816 みのおFM、各公共施設
- [企 画] 実行委員会を設け、各施設などで活動している団体やプロのミュージシャンに協力していただき、ほっとで、心地よい音楽コンサートを企画。出演者を通して市民活動に興味を持ってもらう。市民活動の啓発。ドネーション(協力金)の啓発。東日本大震災災害ボランティアNPO支援金の募金活動とコンサート維持の募金活動。
- [サポーター] 7人

	日時	内容	出演者	動員数 ドネーション
vol.34	5月31日(日) 18:00～19:30	初夏のメロディー	石田ヒロキ 貴葉会(箏曲) チャレンジ 福田淑恵(歌舞音曲座)	約 60 人 17,420 円
vol.35	10月12日(月・祝) 14:00～15:30	秋風にのせて	米阪隆広 上堂尚子 アンサンブル 24 チャレンジ 細川和良	約 75 人 14,150 円
vol.36	12月23日(水・祝) 14:00～15:30	クリスマスライブ	聖母被昇天学院中学校高等学校 小学校 チャレンジ クラシックギター重奏の会	約 85 人 6,992 円



チャレンジコーナー出演者



II. 箕面在住アーティスト展

- [目 的] みのお市民活動センターの周知と賑わいづくり、箕面市に在住するアーティストの発掘と紹介の場。
- [広 報] もみじだより、箕面市Webサイト、タッキー816 みのおFM、各公共施設
- [企 画] 市民活動のネットワークから、アーティストを発掘し、紹介する。

日時	内容	アーティスト
5月26日(火)～6月9日(火)	現代水墨画の世界	月見里応白(康廣)
12月11日(金)～23日(水・祝)	ペン画とコンピューターグラフィックの世界	杉原武弘



I. アートの広場

日時	内容	アーティスト
10月1日(木)～10月12日(月・祝)	ナルク箕面写悠クラブ 作品展	写悠クラブ(ナルク箕面)
3月1日(火)～15日(火)	Hitting up New York Paddyのおもいで	辻上裕美



② 中間支援組織の研修

I. 関西NPO支援センターネットワーク(KNN)への参加

関西NPO支援センターネットワークは、府内各所で立ち上がり始めた支援センタースタッフが集まり2001年度に始まった「市民活動センターを担う市民を励まし合おう会」を前身に、センター運営に共通する課題を共有し、その強みを活かした検証作業や課題解決をめざすネットワークとして2006年度に発足した。現在、主に関西圏の22団体が加入。

運営の方針等を定める世話人会は昨年度からメンバーを一新し吹田、川西が中心になり、今年度の定例会は、1月9日に和歌山で開催した。

また、2016年度は奈良中間支援組織連携会議のみなさんに幹事をお願いすることとなった。



◆実施日 1月9日(土)14:30～16:30

◆会場 和歌山ビッグ愛9階会議室A

◆参加者 オプショナルツアー 13人
新年互礼会&ワークショップ 16人

《内容》

13:30～14:20 会議前にオプショナルツアー開催

14:30～16:30 新年互礼会&ワークショップ

新年のごあいさつと新年度に向けて

II. スタッフ研修

箕面市職員向け研修の位置づけで、人権について考える「人権セミナー」にスタッフ10人が関心のあるテーマを選んで参加した。

また、2年目の事務力アップセミナー&検定の開催を内部講師として2月開催するに先立ち、同じく内部講師を起用して開催するきょうとNPOセンター主催のセミナーに、研修の位置づけで参加した。

日	場所	内容
12月5日(土)	グリーンホール大ホール	人権フォーラム全体会 「人と人をつなぐ詩と音楽の協奏」
12月5日(土)	グリーンホール会議室	人権フォーラム第1分科会 「選挙年齢の引き下げ ～政治への関心を高めるためには～」
1月16日(土)	きょうとNPOセンター	NPO法人事務力アップセミナー
1月18日(月)	箕面市立総合保健福祉センター	医療現場でのコミュニケーション ～だれもが暮らしやすいまちをめざして～
1月19日(火)	市役所第3別館	子どもの貧困 ～シングルマザーの貧困は自己責任?～
1月22日(金)	市役所第3別館	子どもたちの視点で、防災啓発にチャレンジ! ～子どもたちと一緒に防災に取り組んだNPOと自治会の挑戦～

日	場所	内容
1月22日(金)	市役所第3別館	SNSの現状と課題 ～LINEをめぐるいじめ問題を中心に～
1月27日(水)	市役所第3別館	外国にルーツを持つ人々について ～映画『ハーフ』を見て語ろう～
1月29日(金)	みのおキューズモール	ユニバーサルマナー検定
2月4日(木)	市役所第3別館	認知症サポーター ～認知症の理解と対応について～
3月7日(月)	箕面市市立障害者福祉センター「ささゆり園」	発達障害のある人の大学進学と合理的配慮

Ⅲ. 中間支援ネットワーク（北摂中間支援組織関連交流会・研修）

関西NPO支援センターネットワーク(KNN)のメンバーとは別に、北摂中間支援組織の交流を目的に吹田、高槻、豊中、池田、茨木、枚方、門真の中間支援組織で構成している中間支援ネットワーク第8回を開催した。参加：10団体(17人)

大阪府と連携し北摂地域市民活動声援センター交流会と研修と同時開催の形で、11月吹田市立市民公益活動センター(ラコルタ)で開催された。次回の担当は、箕面とすることを確認した。

◆実施日 11月12日(木)

〈研修会〉10:00～12:00 市民公益税制4号条例説明会

〈交流会〉13:30～17:00 市民活動支援センター交流会

《内容》 プログラム ・各支援センターの自己紹介と活動報告

・ワークショップ

①さいたま市市民活動サポートセンターの指定管理者制度廃止が議決された件

②地域における今後の市民活動支援センターの役割・あり方について

・今後の交流会

③ 東日本大震災復興支援活動

2011年3月11日の東日本大震災を受け、市民から様々な被災者・被災地支援の発意があった。フォーラムみのおは、そうした市民の思いを受けて復興支援活動を主催・共催した。

Ⅰ. 東日本大震災復興支援イベント ～3.11を忘れない～

東日本大震災発生後、市民活動センターに募金箱を設置し、以前よりネットワークのあるせんだい・みやぎNPOセンターの「東日本復興支援基金『はばたけファンド』」への募金を続けている。

また、昨年同様、聖母被昇天学院に協力を依頼し、聖歌隊によるコンサートと生徒の皆さんによる募金活動を行った。聖歌隊の歌を聞こうと、多くの方がセンターの玄関前に集まった。その澄んだ歌声を通して被災地に復興の思いを託すコンサートになった。

館内では、震災からの復興支援活動に取り組んでいる9つの団体によるパネル展示と活動紹介、被災地発信の手づくりの小物などの物販を行った。また、今年度は午後から『気仙沼復興横丁』と題したイベントを企画し、箕面ユネスコ協会の会長の坂口一美さんに気仙沼や東北の復興状況や活動の様子を語っていただきながら、気仙沼産地直送の品々を買って！食べて！飲んで！復興支援活動を行った。サポーターの皆さんの協力、ネットワークあつての一日だった。

【聖母被昇天学院中学校高等学校聖歌隊・小学校コーラスクラブ「チャリティコンサート」】

◆日 時	3月13日(日)
	コンサート 12:30～13:00
	募金活動 12:00～12:30/13:00～13:30
	販 売 12:00～
	復興横丁 15:00～19:00
◆会 場	みのお市民活動センター
◆当日募金額	80,041 円
◆参 加 者	約 120 人



【パネル展示】

◆日 程 3月6日(日)～13日(日)

(社福) 箕面市社会福祉協議会、箕面ユネスコ協会、わせねでね・気仙沼手芸コミュニティ、どっこい三味線、手をつなごうコンサート実行委員会、ひこばえの会、阪大災害ボランティアサークルすずらん、タッキー816 応援団、箕面市人権啓発推進協議会

Ⅱ. 手をつなごうコンサート

(主催:手をつなごうコンサート実行委員会、共催:(公財)箕面市メイプル文化財団・(特活)市民活動フォーラムみのお)

東日本大震災の復興支援のため、震災直後から、以前に「ほっとコンサート」に出演していただいたRMOのメンバーが中心となり、アーティストに声をかけ仲間が集まり実行委員会形式で開催。フォーラムみのおは、その趣旨に賛同し共催の立場でチャリティコンサートに協力している。

今回は出演団体 14 団体、2 部制で開催した。

募金は全額、福島の子どもたちとその家族のための短期保養プログラム「森の休日」の支援のために、山形県の「葉っぱ塾」に送られた。また、4 回目を迎え、これまでの活動紹介をパネル展示して活動の啓発も行った。コンサート開催に先立ち、3.11 復興支援イベントのパネル展(会場:みのお市民活動センター)にも参加した。また葉っぱ塾からご提供いただいた物品の販売も行った。



- ◆日 時 3 月 27 日(日)
1 部:12:00~14:30
2 部:15:30~18:00
- ◆会 場 メイプルホール 小ホール
- ◆参 加 者 約 300 人
- ◆寄附総額 156,040 円

3. その他

1) 他団体・組織との連携

① 協賛・後援・協力など

実施日	事業名	主催名	形態
7月4日(土)～12日(日)	第25回箕面紙芝居まつり 第23回手づくり紙芝居コンクール	人と本を紡ぐ会	後援
5月16日(土)	みんなでつくる春のバザー	豊能障害者労働センター	後援
5月23日(土) 12:30～15:00 8月29日(土) 16:30～20:00	箕面の森の音楽会	箕面の森の音楽会実行委員会	後援
6月6日(土) 12:30～	共に生きる 19 コンサート	「共に生きるコンサート」実行委員会	協賛
7月4日(土)～12日(日)	第27回箕面紙芝居まつり	人と本を紡ぐ会	協賛
6月13日(土) 19:00～	おこんじょうり(劇団むう)	箕面おやこ劇場	後援
7月20日(月・祝) 12月19日(土) 3月21日(月・祝)	おやこでたのしもう！(全3回)	箕面おやこ劇場	後援
10月31日(土) ～11月1日(日)	ピースフェスタ2015 「戦争ってなあに？」	ピースフェスタ2015実行委員会	後援
3月24日(木) 18:00～20:00	聖母被昇天学院コンサート	聖母被昇天学院 中学校高等学校	後援
3月27日(日) 14:30～16:00	第2回春うらら 津軽三味線の響き	自然とあそぼ グ・チョコキ・パ	後援

② 委員会等参画

I. 箕面市関係

《箕面市非営利公益市民活動促進委員会》

委員：須貝昭子

	日	内容
第1回	7月24日(金)	1. 事務局自己紹介 2. 案件審議 (1)市民活動実態調査の中間報告(第2弾)について 3. その他 NPOとの協働の事業の実績について(平成26年度)
第2回	10月21日(水)	1. 案件審議 (1)市民活動実態調査の調査結果について 2. その他 (1)平成27年度箕面市民活動支援金交付事業について (2)第8期促進委員会のふり返りについて (3)その他

II. みどり助成金制度審査委員会

審査員：須貝昭子

2013年度より、箕面市のまちなかのみどり支援事業運営会議の委員として審査員を務める。2015年度は、センター事業と日程が重なり、やむなく欠席とさせて頂いた。

III. 箕面市社会福祉協議会関係

《評議員会》

評議員：須貝昭子

市民活動の中間支援組織であるNPO法人の立場で委員として出席。予算、事業計画、決算、事業報告等の検討を行った。

〈開催日〉 5/26、8/17、12/2、3/25

《ボランティアセンター運営委員会》

委員：須貝昭子

ボランティアセンター開催事業、ボランティアグループ協働企画、いきいき祭りなど、さまざまな事業の運営について話し合った。

いきいき祭りの企画運営について、運営委員は実行委員として実行委員会にも参加した。

〈開催日〉 運営委員会 5/26、7/28、9/16、11/24、1/25、3/22

いきいき祭り 3/12(土)10:00～16:00 会場：ライフプラザ

《箕面市地域福祉推進委員会》

委員：牧野紀之

箕面市地域福祉活動計画及び箕面市地域福祉計画の円滑な推進を図ることを目的として設置された委員会。前年度に続き、見直しのための計画の進捗や検証等について議論を行った。

〈開催日〉 8/24、12/7(欠席)

IV. 箕面市文化振興事業団(メイプル文化財団)関係

《理事会》

理事:須貝昭子

メイプル文化財団のホール運営、予算、事業計画、決算、事業報告など経営方針を話し合う。
今年度は3回の開催。

〈開催日〉 5/12、6/1、3/18

《箕面芸術祭 組織委員会》

組織委員:須貝昭子

チケット等の販売協力や、協賛団体として協力している。2015年度は、第11回芸術祭最終公演として、3月19、20日の2ステージで「レビュー 人形たちの恋物語」を開催した。

〈開催日〉 4/17、5/15、6/18、7/30、8/19、9/1、9/9(結団式)、10/1、11/12、1/14、
3/3、19~20(本番)

V. 大阪ボランティア協会関係

《大阪ボランティア協会「評議員会」》

評議員:須貝昭子

(社福)大阪ボランティア協会の評議員として、予算、事業計画、決算、事業報告等の検討を行った。大阪ボランティア協会は、2013年度から谷町に新拠点「市民活動スクエア CANVAS谷町」で3年。2015年は大阪ボランティア協会設立50周年にあたり、大きな節目を迎えた。

〈開催日〉 5/25、11/2、11/7(50周年式典&イベント)、3/23

VI. タッキー816 みのおエフエム関係

《タッキー816 みのおエフエム「番組審議会」》

委員:須貝昭子

タッキー816 みのおエフエムの審議員として、番組の視聴や意見交換などを行った。2015年度は開局20周年にあたり、10月に20周年記念イベントを開催した。

また、東日本大震災を機に審議委員の中から有志で結成した「タッキー816 応援団」と協働で、市民による街角レポーターの養成にも協力した。

〈開催日〉 4/27、6/22、8/24、10/17(20周年記念イベント)10/23、12/21、2/22

VII. 箕面FMまちそだて(株)関係

《「箕面にぎわいフォーラム」》

担当:松木亮

まちづくり事業として活動している箕面FMまちそだて(株)のTMO推進の企画・意見交換の場に参画。市民活動の情報提供を含めて、まちづくりの視点で連携した。

〈開催日〉 毎月第2火曜日

VIII. 地区防災関係

《萱野小地区防災委員会》

担当：須貝昭子

2012年より、萱野小地区の公共施設運営団体として参加。今年度は、1月17日の訓練日が初めて土曜日開催となるため、各自治会での安否確認及び地区防災委員会での情報集約等に加えて、倉庫の備蓄点検、炊き出し訓練、震度体験等のイベントを開催した。

日	回数	内 容
7月22日(水)	第1回	【案件】案件1 啓発ビデオ「地震だ！その時どうする？」の観賞 案件2 萱野小地区防災委員会の活動について ①平成27年度の役員体制について ②地区防災委員会の活動について ③平成27年度の取り組みについて ④平成27年度の活動スケジュールについて
11月8日(日) 9:30～12:00	防災訓練	萱野小グランドにて防災訓練(萱野小地区防災委員会独自訓練) ①防災倉庫点検 ②煙体験・水消火器・資機材(発電機・ポンプ)訓練 ③被災地派遣職員(箕面市職員)の体験談を聞く学習会
1月17日(土)	防災訓練	萱野小学校にて、午前9時より市一斉の防災訓練で萱野小グラウンドに集合し、各エリアの防災体験等を行う。

IX. 箕面東高校関係

委員：須貝昭子

外部講師として、社会福祉入門事業を引き受けている関係で、箕面東高校の地域関係組織として大阪府教育委員会から委嘱を受け委員として出席し、学校経営計画や学校運営に関して協議している。

《学校協議会》

日	回数	内 容
6月13日(土)	第1回	【協議事項】1. 重点目標と取組について 2. エンパワメントスクール
11月7日(土)	第2回	【報告事項】1. エンパワメントスクールの状況 2. 教育相談体制の状況 【協議事項】1. 平成27年度・学校経営計画の取り組みの進捗状況 2. 第1回授業アンケート結果の活用 3. その他
2月6日(土)	第3回	【報告事項】1. 今年度の進路状況 2. エンパワメント1期生の1年を振り返って 【協議事項】1. 平成27年度・学校経営計画及び学校評価 2. 学校教育自己診断アンケート 3. 平成28年度 学校経営計画及び学校評価 4. その他

2) 組織運営

① 2015 年度通常総会

日	種類	内 容
5月24日(日)	通常 総会	【議案】 第 1 号議案 2014 年度事業報告の件 第 2 号議案 2014 年度決算承認の件 第 3 号議案 2015 年度事業計画(案)承認の件 第 4 号議案 2015 年度活動予算(案)承認の件 第 5 号議案 役員選任の件 社員総数 82 人 出席者数 58 人(委任状提出 35 を含む)

② 理事会

日	回数	内 容
4月21日(火)	第1回	【議案事項】 ・第 1 号議案 2015 年度事業計画(案) ・第 2 号議案 2015 年度予算(案) 【検討事項】 ・総会記念講演会について
5月13日(水)	第2回	【議決事項】 ・第 1 号議案 2015 年度予算(案)について ・第 2 号議案 理事の退任、選任について 【検討事項】 ・2014 年度決算について ・総会、記念講演会の役割分担について
5月24日(日)	第3回	【議決事項】 ・第 1 号議案 2014 年度決算(案) ・第 2 号議案 2015 年度予算(案) 【検討事項】 ・参考資料の位置づけについて
7月15日(水)	第4回	【報告事項】 ・決算書(財産目録)の修正事項 ・理事の退任意向の件 ・非常勤スタッフの採用状況 【検討事項】 ・今年度予算について ・今年度事業計画について
11月18日(水)	第5回	【検討事項】 ・2015 年度上半期決算 ・マイナンバー制度に関わる就業規則等の改正 【報告事項】 ・さいたまNPOセンターの進捗状況
1月8日(金)	第6回	【決定事項】 ・総会日程 【検討事項】 ・次回理事会の日程
2月3日(水)	第7回	【検討事項】 ・任期満了に伴う役員選任の件 ・今年度事業(1 月時点)の振り返りと来年度事業の改善提案 ・3 月退職者に代わる非常勤スタッフの求人状況
3月30日(水)	第8回	【検討事項】 ・今年度総会に向けて、2 月決算報告と3 月末の予想決算書の確認 ・財政面と運営体制の見直しについて

③ 協働会議

2 か月に1回程度のペースで、市民活動推進室と協働会議を開催。会場は、センターを提供。センター事業、施設管理業務を中心に協議、報告、情報交換等を行っている。

④ スタッフ会議、事務局会議

事務局運営のため、専従スタッフが参加するスタッフ会議を毎週水曜日、非常勤スタッフも含めた事務局スタッフ全員が参加する事務局会議を隔週の水曜日中心に開催している。スタッフ会議では主に事業企画・実施に係る協議、共有事項、相談対応の共有などを行い、事務局会議では主に事業進捗状況の確認や共有、施設管理・受付に関わる対応の協議・共有などを行っている。

事務局会議に関しては、スタッフの全員参加が難しくなっていることやメールでのやり取りで共有出来ることもあり、来年度は回数を減らすことも検討している。

3) 報道採録

掲載・放送日	媒体	内容
5月27日(水)	みのおNOW! ブログ	箕面在住アーティスト展「現代水墨画の世界」
8月8日(土)	みのおNOW! ブログ	まんどうろ火祭り
9月20日(日)	みのおNOW! ブログ	みのおNPOフェスタ2015
3月13日(日)	みのおNOW! ブログ	東日本大震災復興イベント～3.11を忘れない～
3月15日(火)	産経新聞	「3・11を忘れない」箕面で支援イベント

